

9. 9 県民大会に参加して

海江田登美子 常任世話人



オスプレイ配備反対県民大会から1ヶ月になる。10万1千名がオスプレイにレッドカードを突きつけた。参加したくても参加できない人達、2千名が集った離島の人たちを合せると、どれだけの県民が心ひとつにレッドカードを高く掲げたでしょう。うたの島、芸能の島、命どう宝の島になぜ？人殺しのあらゆるものが押し寄せてくるのか？戦争が終って67年、沖縄は今でも戦場に直結し、島自身は戦後の平和憲法の下でのくらしをまだ味わうことが出来ないまま、人々は今でも占領軍のままの米軍に苦しめられている。なぜ沖縄だけがと考える。しかし、これを沖縄だけの問題にしたら国民は自分たちの人権が踏みにじられていることに気付かないことになると思う。復帰運動の中で、私たちは日本の沖縄化という言葉をよく使った。今、まさに沖縄化が進んでいる感がある。地上戦で多くの罪のない県民が死んでいった。命どう宝の島で全人口の4分の1が生きたくても生きられず、自ら死を選び、日本兵に殺され、艦砲射撃でやられ、食べるものもなく栄養失調で死んでいった。多くの人々の流した血の上で生かされた私たちは今を暮している。これまでもあらゆる人殺しの兵器が沖縄には入ってきている。それでも、まだ足りないというのか？とうとう未亡人製造機といわれているオスプレイをおしつけるとは、ハワイやアメリカ本国ではノーが通って日本ではノーが通らないのか？一人の生き残りとして納得がいかない。政府は安保を持ち出してくる、しかし、憲法では国民はすべての人権を保障されているといわれている。なぜ政府は日本国憲法の上にたった10条の安保を乗っけていいなりなのか、政府の行為によって再び戦争



の惨禍が起こることのないようにすることを決意し、主権が国民にあることを宣言した憲法にもそぐわないようなことは今すぐ、やめるべきです。そしていつまでも沖縄を捨て石にし、踏みにじるようなことでは日本の国自体が独立国という言葉とはうらはらに、アメリカの従属国

としていつまでもいいなりになるしかないのです。沖縄をトカゲのシッポ切りとして考えているのであれば、それは頭は東京にあるということ、小指の痛みは全身の痛みにならないと思っていること。しかし全身の痛みになるのです。オスプレイの飛行ルートを見る限り全国に被害が広がることでしょう。それが全身の痛み！

オスプレイは平和を願う島にはあってはならないもの。そして、全ての兵器をなくし、沖縄中にサンシンとうたとおどりが満ち溢れることを願いつつオスプレイにレッドカードを！ニライカナイの言い伝えを実現するため、小さな弱い力ですが、がんばっていきたいと思います。